

問題1 3次元 xyz 空間の原点に電荷 q がある。

(1-1) \vec{r} の位置に電荷 q_1 があるとき、この電荷に働く力 \vec{F}_1 を求めよ。($r = |\vec{r}|$ とせよ)

$$\vec{F}_1 = \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{qq_1}{r^3} \vec{r}$$

(1-2) 原点の電荷 q が \vec{r} の位置に電場

$$\vec{E} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{\vec{r}}{r^3}$$

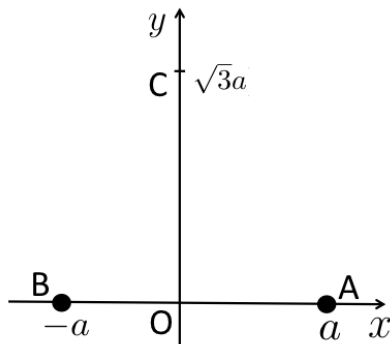
を発生していると考え、上で求めた力 \vec{F}_1 を電場 \vec{E} を使って表せ。

$$\vec{F}_1 = q_1 \vec{E}$$

(1-3) \vec{r} の位置に電荷 q_2 があるとき、この電荷に働く力 \vec{F}_2 を電場 \vec{E} を使って表せ。

$$\vec{F}_2 = q_2 \vec{E}$$

問題2 図のように x 軸上の原点 O から a [m] の距離にある点 A と点 B に q [C] の正電荷を固定した。真空の誘電率を ϵ_0 として次の問に答えよ。



(2-1) 点 A にある点電荷が、点 C の位置に作る電場を求めよ。

A にある電荷が C に作る電場 $\vec{E}_{A \rightarrow C}$ なので、 $\vec{r} = \vec{AC} = (-a, \sqrt{3}a) = a(-1, \sqrt{3})$,
 $r = a\sqrt{(-1)^2 + \sqrt{3}^2} = 2a$ より、

$$\vec{E}_{A \rightarrow C} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{\vec{r}}{r^3} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{a(-1, \sqrt{3})}{(2a)^3} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(-1, \sqrt{3})}{8a^2}$$

(2-2) 点 B にある点電荷が、点 C の位置に作る電場を求めよ。

B にある電荷が C に作る電場 $\vec{E}_{B \rightarrow C}$ なので、 $\vec{r} = \overrightarrow{BC} = (a, \sqrt{3}a) = a(1, \sqrt{3})$, $r = a\sqrt{1^2 + \sqrt{3}^2} = 2a$ より、

$$\vec{E}_{B \rightarrow C} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{\vec{r}}{r^3} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{a(1, \sqrt{3})}{(2a)^3} = \boxed{\frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(1, \sqrt{3})}{8a^2}}$$

(2-3) 点 C の電場を求めよ。

上で求めた 2 つの電場を合わせて、

$$\begin{aligned} \vec{E}_{(A,B) \rightarrow C} &= \vec{E}_{A \rightarrow C} + \vec{E}_{B \rightarrow C} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(-1, \sqrt{3})}{8a^2} + \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(1, \sqrt{3})}{8a^2} \\ &= \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(-1, \sqrt{3}) + (1, \sqrt{3})}{8a^2} = \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, 2\sqrt{3})}{8a^2} = \boxed{\frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, \sqrt{3})}{4a^2}} \end{aligned}$$

(2-4) 次に、点 D $(0, -\sqrt{3}a)$ の位置に、電荷 Q [C] の点電荷を固定したところ、点 C での電場が 0 になった。 Q を求めよ。

D にある電荷 Q が C に作る電場 $\vec{E}_{D \rightarrow C}$ をまず計算する。 $\vec{r} = \overrightarrow{DC} = (0, 2\sqrt{3}a) = 2\sqrt{3}a(0, 1)$, $r = 2\sqrt{3}a$ より、

$$\vec{E}_{D \rightarrow C} = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0} \frac{\vec{r}}{r^3} = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0} \frac{2\sqrt{3}a(0, 1)}{(2\sqrt{3}a)^3} = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, 1)}{(2\sqrt{3}a)^2} = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, 1)}{12a^2}$$

となる。したがって、全電場は

$$\begin{aligned} \vec{E}_{(A,B,D) \rightarrow C} &= \frac{q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, \sqrt{3})}{4a^2} + \frac{Q}{4\pi\epsilon_0} \frac{(0, 1)}{12a^2} = \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{\sqrt{3}q}{4a^2} (0, 1) + \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \frac{Q}{12a^2} (0, 1) \\ &= \frac{1}{4\pi\epsilon_0} \left(\frac{\sqrt{3}q}{4a^2} + \frac{Q}{12a^2} \right) (0, 1) \end{aligned}$$

となるが、これが釣り合っただけになるためには、 $\frac{\sqrt{3}q}{4a^2} + \frac{Q}{12a^2} = 0$ より、 $\boxed{Q = -3\sqrt{3}q}$

問題 3 以下の仕事量 W を求めよ。

(3-1) 物体を F の力で押して、距離 l だけ動かすのに必要な仕事 W 。

$$W = \boxed{Fl}$$

(3-2) 地上にある質量 m の物体を、高さ h の地点まで持ち上げるのに必要な仕事 W 。

$$W = \boxed{mgh}$$

(3-3) バネ定数 k のバネを、 a だけ伸ばすのに必要な仕事 W .

ばねが a だけ伸びているとき、ばねは $F = -kx$ の力で縮もうとする。(ばねを伸ばす方向に x 軸の正の方向をとっているので、マイナスがつく)。したがって、これに対抗するために手が加える力は、 $-F = kx$ となる。 x だけ伸びているばねをさらに dx だけ微小にのばすのに必要な仕事は $(-F)dx = kx dx$ なので、これを $x = 0$ から $x = a$ まで全て足し合わせることによって、

$$W = \int_0^a (-F)dx = \int_0^a kx dx = \boxed{\frac{1}{2}ka^2}$$